

河内長野市教育立市宣言

市民のみなさん、私は、3月1日に開会した市議会定例会に「河内長野市教育立市宣言」を提案し、ご承認をいただきました。

教育は「国家百年の計」と言われますが、この実現には、市が大きな責務を担っており、今回の宣言により、大阪一の教育都市をめざし、教育立市の実現に向け大きな第一歩を踏み出しました。

今後は、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じて、市民が生涯にわたり教育を受ける機会を拡大するとともに、「教育立市」にかかわる施策について、具体化を図っていきます。

市長 芝田啓治



▲昨年開催された「ぐるっとまちじゅう博物館」で、子どもたちの文化財解説を熱心に聞く市長（延命寺で）

【前文】

河内長野市は、美しい自然、豊かな伝統や文化に包まれたまちとして歴史を築くとともに、市制施行以来、さまざまな都市基盤の充実に努めてきました。

日本の社会は、人口の減少や少子高齢化の到来の中で、技術革新、産業構造の変化、情報化、国際化などがよりいっそう進展した知識基盤社会へと移行していきます。

このような大きな変化の中であって、一人ひとりの健康で充実した人生のため、市民自らの意思と行動で、学びの場や機会を創出する生涯学習社会の構築が必要です。

そして、「わがまち河内長野」の活力を維持・充実させ、まちの魅力をさらに高めるためには、人々の根源的な営みである教育に大きな力を注ぎ、地域社会を再生させることを通じて、都市基盤を、潤いと魅力と夢があふれる生活基盤へと向上させなければなりません。

私たちは、教育が果たすべき役割を自覚し、人々が創り上げた教育の理念や目標をふまえ、市の発展、まちづくりの柱として教育を据え、その振興に向けて、市民総意のもとで協働して取り組むため、ここに教育立市宣言を行います。

【宣言】

- 私たちは、未来の宝として、学ぶ意欲に富み、心やさしくたくましい子どもたちを育てます。
- 私たちは、人を大切にすると人権感覚の豊かな子どもたちを育てます。
- 私たちは、家庭の力、地域の力、学校の力など、市民の力のつながりを大切にし、市の未来を担う人となります。
- 私たちは、わがまち河内長野の伝統や文化を大切にし、ふるさとや地域を愛する市民となります。
- 私たちは、豊かな学びの場のもとに、生涯にわたって学び続け、自らの人生を充実させるとともに、学びの成果を活かして社会に貢献します。